

事務事業評価表 平成23年度

政策 計画実現に向けて
 施策 開かれた行政づくり
 基本事業 広報の充実

事業名 **市勢要覧作成事業**

[0563]

| | | | | | |
|----|-------|--------|--------|----------|------|
| 部名 | 企画政策部 | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 広報広聴課 | 事業終了年度 | 平成22年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|---|
| 対象 | (誰、何に対して事業を行うのか) 市に関心を寄せる市外の企業・人 |
| 意図 | (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 市に関心を持っている方などに市の現状が周知される。 |
| 手段 | (事務事業の内容、やり方、手段) 市政、地勢、市の現況などをパンフレットにまとめ、市に関心を持っている方などに配布する。 |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|----------------|--------------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 20年度実績 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度当初 |
| 対象指標1 | 市に関心を寄せる市外の企業・人の数 (把握困難) | 人 | | | | |
| 対象指標2 | | | | | | |
| 活動指標1 | 作成部数 | 部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 配布部数 | 部 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 成果指標2 | | | | | | |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 費用内訳 | |
|------|--|
| 22年度 | |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|------------|--|---------------------|--|
| 事業開始 背景 | | 事業を 取り巻く 環境変化 | 市政の概要については、市ホームページの普及によりインターネットを通し必要情報を入手するケースが増加し、冊子で情報提供依頼されるケースは減少しているが、紙ベースに対するニーズもなお存在している。 |
|------------|--|---------------------|--|

22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

江別市の現状についての情報提供誌である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

市勢について、写真・データ等で紹介している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

江別市の現状を紹介する資料として、各種会議や職員出張時に活用されている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・
根拠は？

冊子としての成果は十分である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

ホームページを充実させるとともに、紙質の変更や内容の簡素化を図っている。